

平成維新の理念実現に向けて

「一日の会」代表 伊藤 祐文

「ジョン万次郎一日の会」は、「案内の通り、受けて、同運営細則に準拠して運営されています。」

「平成維新を実現する都民の会」会則13条を提唱する平成維新憲章の理念を実現する市民運動団体の思想の上に置かれています。

各位には、毎月「多忙の中、手弁当で」「参加いただき会を盛り上げて下さる厚く御礼申し上げます。

「これからも、会発足時の会員交流、取分け異業種交流の思想を踏襲しながら、新たな縁(えにし)、新たな情報、新たな知識の習得の場として、各位の「意見を参考にしながら標記理念実現を目指して色々な意味で発展していくよう願っております。

具体的には、継続は力なり

中島信一郎

も」「一日の会」がなかつたとしたが、平成維新の会は存続していくでしょうか?皆がこれほど親密になっていたのでしょうか?テーブルを囲んで議論、政策を話し合つていただけでは力を持続し続けるのは困難だと思います。

今まで「一日の会」はとにかく一人でも多くの会員の名前と顔を一致させる」と、相手の性格や思想を少しでも理解する」とに重点を置いてきました。「これからは第二幕として、テーマを決めて、その話題に対して意見を交す。もちろん今まで通り親睦を深める」とも急りはしません。平成維新を実現させる2005年おど、幾度かの挫折、組織変更はあつ

て当然の「こと」です。ただ大事な」とは一人ひとりが維新実現のために力を持続する」となのです。そのための力を蓄え有効に使えるためにも「一日の会」は続けて行きたいと思っています。「2005年ジョン万次郎貸切」を目標に私自身微力ではあります、裏方の一人として力をつくす所存です。「継続は力です」

標に私自身微力ではあります、裏方の一人として力をつくす所存です。「継続は力です」

「興味」の選択肢を幅広く

藤井 隆

「一日の会」がスタートして1年と3ヶ月。参加させていただく中で、多くのすばらしい方々に出会い、多くを学ばせてもらいました。そして、「一日の会」の良さはと言えば、私はその「自由れ」におふと思ひます。もちろん、節度を踏まえた「自由さ」である」とが大切ですが、この「自由さ」を活かしつつ、さらに会を活性化するには、と言うといふでちょっとと考えてみました。「一日の会」には色々な人が集い、その関心のあることとも様々です。分科会的なものをつくることはどうかと思ひます。むろん、全体としての時間も必要ですかね、一部分科活動に充てるのがいいと思ひます。例えば、「テーマとしては、「都政を考える」「ビジネス交流」「映画談義」「グルメ情報など」「恋愛・結婚論」なんていいうのもおもしろいかもしれません。各分科会の出入りは自由、まごめ役は言い出しつぶれの人にとって居心地の良い場にする必要があります。具体的には、会員がホストの精神をもつて初めて来た人に話しかける。「これは、是非、参加される会員の方にお願いしたい。主催者は、イスの数を減らし、つまり立食パーティーの形式とし、参加者が移動しやすい環境を用意します。そして、初めて来た人が興味を持つて、会員にはなまくとも、維新の会への同調者が増えていくだけでも、今の維新の会にとっては十分満足のいくものではないで

しょうか。

自民党には、「党员、党友の他」、選挙では自民党に票を入れるという支持者がいます。

「一日の会」では、単に会員の友好を深めるだけにとどめず、積極的に会への同調者を増やしていく場にしたいと思います。「一日の会」は、人のつながりを広げ、また新しい出会いを増やしていく起點にしていきます。そ

のためには、「一日の会」は毎月1日19:00から信濃町で行いつづけます。たとえ、仕事の都合で毎回来られなくとも、そこに行けば必ず人が集まっているという状況を提供しつづけます。

また、「一日の会」の望む姿は、

・維新の会員が知り合いを連れてくる。  
・その知り合いが「一日の会」に定着する。  
・さうにその知り合いが知り合いを連れてくる。

早いもので昨年7月1日からスタートした「一日の会」も本年10月で16回を重ねることができます。スタート以来、1回参集いただいた方々は延べ100名以上に達します。ほんとうに「協力ありがと」ね」とました。「一日の会」は、毎月1日の夜7時からJR総武線信濃町駅駅ビル内の居酒屋「ジョン万次郎」に会費4,000円で集まっています。(一日が休日・祭日でも集まります。元旦等、ジョン万次郎がお休みの場合でも場所を確保して集まります。今年の元旦にも集まりました。) 参加資格はありません。ただ、「変わらなくちや、変えなくちや。」「一緒に何かをやる仲間がほしい」、そんな思いを持った方が参集しています。事務局も出席していただき皆様に「楽しく」語り合つていただきたい企画をいろいろと考へています。どうか、一度、気軽に顔を出してみてください。もちろんお知り合いの方の出席も大歓迎です。

「一日の会」の「」案内

佐藤 伸英

いか」を30秒程度で表明し、歓談をしてもらいう」とも考えられます。いわれにしても、「一日の会」は、維新の会を拡大させるひとつの起点として機能させていきます。

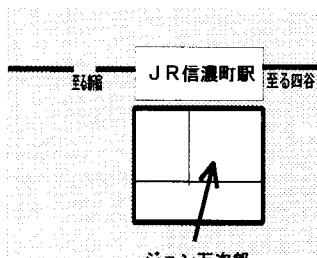
「一日の会」を「ハート」だい

山本 竜二

「」の半年で維新の会は組織的に大きく変わりました。その様な状況の中で、会員に、参加者全員が「今日、自分は何を話した

歓談できる話題を提供することも必要です。

主催者としては、あらかじめその回毎のテーマを設定し事前に周知する方法を試してみます。また、あるいは、「一日の会」の初めに、参加者全員が「今日、自分は何を話した



ジョン万次郎

JR総武線・信濃町駅下車  
信濃町駅ビル内

TEL 3949-3071